

# あなたならどうする

中学校3年生

## I アクティビティーについて

### ねらい

学級としての意思決定過程で生じがちな具体的な問題のロールプレイを通して、意見や気持ちを適切かつ豊かに表現し、的確に理解し合えるような、伝え合い、分かり合うためのコミュニケーション能力を育てる。

### ◆◆◆視点◆◆◆

- ◎コミュニケーション能力
- 共感と連帯感
- 公平・公正

### 設定の理由

互いに人間として尊重し合いながら協力して共に生きていく上で、各自が持つ情報、意見、思い等を適切に表現し、理解し合うためのコミュニケーション能力は不可欠である。

そこで、自分の意見や主張を攻撃的ではなく、他者の権利を侵害することなしに積極的に伝える力(アサーティブネス)を身に付けることを目指す体験的な学習活動に取り組みさせることによって、コミュニケーション能力を育てたい。

### アクティビティーの概要 (1時間扱い)

活動1 ロールプレイ「あなたならどうする」を行い、話し合う。  
 ・グループ内のもめごとなどの対応の仕方を、様々な立場や考えを通して考える。

活動2 ロールプレイをふり返り、どの言い方が一番素直に受け入れられるか、意見交換をする。

## アクティビティの実際

- 準備するもの
  - ・ワークシート
  
- アクティビティの進め方

### 活動1 「あなたならどうする」

- ① 設定した場面について説明する。

#### 教師の説明

- 次のような場面で、あなたならどんな意見を言うか考えてみましょう。

#### <課題>

修学旅行での1日班別行動を考えているときです。ほとんどの行程が決まった後、あまり意見を言わなかった佐藤君が、急に「銀閣寺に行きたい」と言い出しました。銀閣寺はもともと予定に入っていません。北村さんは「もう全て決まったから変更はできないよ」といいます。しかし、「決まったって言ったって僕はまだ意見を言っていない。銀閣寺に行きたいんだ。」という、「今まで意見を言わないほうが悪いんだ」と他の班員。さて、あなたは班の一員としてどうしますか？

- 解決のためのキーワードや話し方のコツなどはあるのでしょうか。

- ② 代表の生徒に場面を演じさせる。
- ③ 自分の意見を考え、ワークシートに記入する。
- ④ グループに分かれ、交替しながら役割を演じる。
- ⑤ 一番よいと感じた意見をグループでまとめ、発表し合う。

### 活動2 ふり返り

- ① ロールプレイをふり返り、意見交換を行う。

#### <ふり返りの留意点と発問例>

- 活動を行い、感じたことを発表させる。

#### 発問例

- ・どんなことに気をつけて自分の意見を考えましたか。また、どの言い方が自分にとって聞き入れやすかったですか。
- ・キーワードとなる言葉や内容はありましたか。

## アクティビティーを指導するポイント

- ◇ アクティビティーを実施するにあたり、別の課題を設定する方法も考えられる。その場合には、善悪がはっきりしているものより、善悪が明確でなく葛藤するような場面を設定するとよい。
- ◇ 事前に班長会議を開き、代表のグループに演技をさせるなど、学級の実態に応じた工夫をすることがポイントである。
- ◇ アサーティブな言い方についての学習をしていない場合は、事前に学習してから実施すると効果的である。
- ◇ ロールプレイ終了後は、話し合いに入る前に、「〇〇さん、Aの役は終わりました。ありがとう」と、必ず生徒の本名を呼び、役割が終了したことを学級全員に聞こえるように告げるようにする。このことにより、役割と本人とをしっかりと切り離すことが大切である。

## II 授業展開例

～中学校3学年「学級活動」における授業展開例～

時	学 習 活 動	教師の働きかけ
1	1 これまでの中学校生活のトラブルの経験について発表する。	○学級生活や部活動などで、トラブルになった場面について発表させる。 ○トラブルになった理由の一つに、言い方が適切でない場合があることに気づかせる。
	2 本時の課題場面を知る。	○課題場面「あなたならどうする」について、代表の生徒に演じさせる。
	3 グループごとに役割を決めて、演技を行う。 ・課題場面について、自分の意見を考える。 ・グループごとにロールプレイを行う。 ・意見交換をする。 ・グループごとに一番よかったものを発表し合う。	○自分ならどのような言い方をするか考えさせる。 ○役割を交替して行わせ、それぞれの立場に立って考えさせる。 ○どうしてその言い方が、納得できたのかをグループの意見として発表させる。
	3 班ごとにロールプレイについてふり返る。	○全員が納得できるようなよい言い方はないか考えさせる。
	4 全体で意見交換する。	○お互いに敵・味方の関係ではなく、相手の気持ちを理解することが重要であることに気づかせる。
5 本時のまとめをする。	○班や部の中だけのものではなく、普段の友人関係でもありうることだということに気づかせる。	

Ⅲ 資料

あなたならどうする 組 番 名前

課題

修学旅行での1日班別行動を考えているときです。ほとんどの行程が決まった後、あまり意見を言わなかった佐藤君が、急に「銀閣寺に行きたい」と言い出しました。銀閣寺はもともと予定に入っていません。北村さんは「もう全て決まったから変更はできないよ」といいます。しかし、「決まったって言ったって僕はまだ意見を言っていない。銀閣寺に行きたいんだ。」という、「今まで意見を言わないほうが悪いんだ」と他の班員。さて、あなたは班の一員としてどうしますか？

同じ班の班員として意見を言ってみよう

[ ]

どんな点に気をつけて意見を言いますか？

[ ]

○どの言い方が自分にとって聞き入れやすかったですか。

「  
」

○これからの生活で生かしていけそうなことはありましたか。

○感想